



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

『漫画』の是非

2026年2月号 2月4日発行

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

今年の大学入学共通テストの「歴史総合・世界史探究」の科目では、漫画が登場し、その漫画の題材となっているフランス革命についての出題がありました。その漫画を知らなくても知識があれば答えられる問題だったとは思いますが、ある受験生が、「その漫画を見たことがあるのでラッキーと思った」という感想を述べている記事がありました。漫画も役に立ったということでしょう。

漫画には歴史や科学などをわかりやすく学べるものもあります。スポーツなどに興味を持ったり、正義感を育んだり、あるいは、漫画がきっかけで興味を持ち、原典を読むということもよくあることです。一方で、夢中になりすぎて勉強の時間が減ったり、内容によっては年齢に適さなかったりするものもあります。ですから、漫画と上手につきあうことが大切であり、特に小学生の時代は、ご家庭の協力が重要だと考えています。

本校では、電車やバスの中で読書をすすめています。そのときに持参した漫画を読むことは認めていません。また、朝読書の時間に読む本も漫画は認めていません。漫画ではなく文字を読み、想像力を働かせて読む力を広げ、高めていってほしいと考えているからです。

ご家庭で漫画を与える際には、次のようなことにご配慮いただきたいと思います。

- ・購入前に内容を一緒に見て、年齢に適しているかどうかを確認する。
 - ・読む時間や場所についてルールを決める。
 - ・漫画の内容について親子で会話し、感想を聞く機会を作る。
 - ・図書館の本や教科書なども並行して読む習慣をつける。
- 漫画と上手につきあい、子どもたちの読む力を伸ばしていきましょう。

令和7年度学校評価アンケート結果

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。進路に関する項目については、各学年で「中学部に進学したい」について評価が上がりました。また、その他の項目で「小学部児童でよかった」についても概ね高い評価をいただきました。

一方で、「中学部の様子を知っている」、「中学部の説明が学校からなされている」については、前回に比べてわずかに高くなっている学年もありますが、全体的には他の項目に比べて低い評価となっています。今後も説明の機会を設けていくと共に、改善に向けてできることを考えていきます。現在、中学・高等部のお姉様たちと放課後時間を活用して交流することを検討しています。

今後も、皆様からのご意見を真摯に受け止め、学部経営に生かしてまいります。

『怪物とは』

ここ数年、書店で「サイコパス」という言葉を冠した本をよく見かけます。かつては猟奇的な殺人犯を指す言葉でしたが、今では「話が通じない同僚」や「常識の通じない隣人」など、身近な人を表す言葉として溢れています。自分と考えの違う人を「サイコパス」という型に当てはめて切り離すことで、私たちは安心しようとしているのかもしれませんが。相手を「理性の通じない怪物」と決めつける心理は、向き合うことを諦め、自分は正しいと思い込むための心のバリアのようにも見えます。しかし、相手を「異物」として追い出すまなざしは、一歩間違えれば深い闇へとつながります。仏教のアングリマーラの物語は、その恐ろしさを教えてくれます。聡明だった彼は、間違った教えから「千人の指を切り取れ」という狂気にとらわれました。ついに最後の一人を殺そうとしたその時、彼は前を歩くお釈迦さまの姿を見つけます。殺意に燃えて襲いかかってきた彼に、お釈迦さまは静かに「アングリマーラよ、私はすでに止まっている。止まっていないのは、お前の方だ」と言いました。それは、命を傷つけるのをやめ、穏やかな心に安住するお釈迦さまと、暴走していることさえ気づけずにいる怪物。この言葉は、彼の暗い心に差し込んだ一筋の光となりました。

この悲劇は、二千五百年後の現代も形を変えて繰り返されています。ウクライナやイスラエルの戦争、そして残酷な事件。その根底にあるのは、相手を「一人の大切な人間」として見ようとしないう悲しさです。極限状態では、相手にも自分と同じ痛みがあることを忘れ、相手を「敵」や「標的」という言葉に置き換えて、モノのように扱ってしまいます。その瞬間に心から温かな光が消え、深い暗闇が広がるのです。

私たちは、自分を「まとも」だと信じ、理解できない人を「怪物」として遠ざけます。でも、本当に怖いのは、自分の中にも相手をモノとして扱う「怪物」が潜んでいることに無自覚であることではないでしょうか。相手を冷たく突き放すまなざしの中にこそ、怪物の種があります。自分の身勝手さを見つめることをやめた時、人は誰でも怪物になってしまう危うさを持っています。私たちは自分一人の力で生きているわけではありません。数えきれない命のつながりや、考えの違う人との「縁」の中で、奇跡的に「生かされている」のが私なのです。その事実気づく時、他者は排除すべき敵ではなく、共にこの世界を生きる尊い命に変わります。自分の中の怪物を認め、どんな命も等しく尊ぶこと。

そして、生かされていることに感謝して合掌するのがお釈迦さまの教えです。

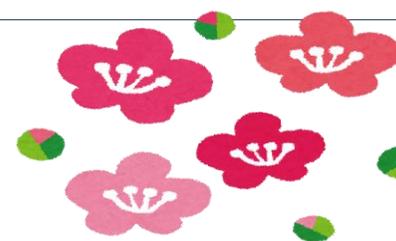


2月行事予定

1/31~2/7 校内書き初め展

- 2日 朝会
- 3日 1年生生活科むかしからの遊び
職員会議
- 7日 1,2校時 小中高授業公開
3校時 1~4年学級懇談会
5,6年学年懇談会
- 9日 涅槃会
- 10日 クラブ・クラブ見学(3年生)
- 11日 祝 建国記念の日
- 12日 6年生中学部ガイダンス
- 13日 6年生校外学習

- 14日 休業日
転入試験
- 17日 クラブ・クラブ見学(3年生)
- 18日 授業研究会のためB日課
- 20日 芸術鑑賞教室(5,6校時)B日課
- 21日 休業日
- 23日 祝 天皇誕生日
- 24日 職員会議
- 25日 個人写真撮影(1~5年生)
授業研究会のためB日課
- 27日 高等部謝恩会のため2時間授業



今月の目標

「寒さに負けずに、外で遊ぼう」